

教 育 委 員 会 定 例 会 議 録

1 日 時

令和6年9月19日（木）

開会 9時30分

閉会 9時54分

2 場 所

教育委員室

3 出席者及び欠席委員の氏名

出席委員 福永和伸教育長、大森達也委員、栗須百合香委員、富樫健二委員、
安田悦子委員

欠席委員 なし

4 出席職員

教育長 福永和伸（再掲）、副教育長 大屋慎一

次長（教職員担当）福井崇司、次長（学校教育担当）早田清宏、

次長（育成支援・社会教育担当）坂井哲、次長（研修担当）荻田直樹

教育総務課 課長 浮田知樹、班長兼企画員 米澤道隆

保健体育課 課長 堀越英範、課長補佐兼班長 岡村教正、

充指導主事 天白喜啓、

社会教育・文化財保護課 課長 松本真人、課長補佐兼班長 野村太郎、

主事 浅井紗耶可

5 報告題件名

報告1 令和6年度全国高等学校総合体育大会等の結果
について

報告2 令和6年度三重県中学校総合体育大会の結果に
ついて

報告3 令和6年度東海中学校総合体育大会の結果につ
いて

報告4 令和6年度全国中学校体育大会の結果について

報告5 指定管理者が行う公の施設の管理状況について

6 審議の概要

- ・開会宣言

福永和伸教育長が開会を宣告する。

- ・会議成立の確認

5名中5名の委員の出席により会議が成立したことを確認する。

- ・前回審議事項（9月6日開催）の審議結果の確認

前回定例会の審議結果の内容を確認し、全委員が了承する。

- ・議事録署名者の指名

大森委員を指名し、指名を了承する。

- ・会議の公開・非公開の別及び進行の確認

報告5は県議会提出前であるため、非公開とすることを決定する。

会議の進行は、公開の報告1から報告4の報告を受けた後、非公開の報告5の報告を受ける順番とすることを決定する。

- ・報告事項

報告1 令和6年度全国高等学校総合体育大会等の結果について（公開）

（堀越保健体育課長説明）

報告1 令和6年度全国高等学校総合体育大会等の結果について

令和6年度全国高等学校総合体育大会等の結果について、別紙のとおり報告する。

令和6年9月19日提出 三重県教育委員会事務局 保健体育課長

1ページをご覧ください。令和6年度全国高等学校総合体育大会は7月21日（日）から8月20日（火）にかけて、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、北海道、福島県、和歌山県で開催され、本県からは526名の選手と、170名の役員・監督、合計696名の監督が参加しました。

それでは、主な競技結果について報告をさせていただきます。

団体については、松阪商業高等学校陸上競技部がフィールド競技学校対抗で2位に入賞したのを筆頭に、10件の入賞を果たしました。団体では、県外の私立の強豪校が競技力の向上に力を入れていることから、全国的に見ても、公立高校の入賞件数が減ってきている状況です。そのような中、本県の団体の入賞件数は、令和5年度と比較すると、4件下回る結果となりましたが、令和4年度と比較すると、同数であることから、選手は日頃の成果を十分に発揮していただいたと考えております。

続きまして、2ページをご覧ください。ここには、個人の結果を掲載してあります。個人競技については、陸上競技の円盤投で世古選手、水泳競技の飛込で伊坂選手、新体操で山本選手、ウエイトリフティングの49kg級C&Jで伊坂選手、レスリングの53kg級で小塚選手が優勝するなど、40件の入賞を果たしました。

令和6年度全国高等学校総合体育大会における団体と個人の入賞件数の総計は50件で、過去最高の入賞件数であった令和5年度と比較すると、14件の減となりましたが、三重インターハイの開催年の入賞数や、三重とこわか国体の開催を予定していた年の入賞数と比較すると、ほぼ同数となりました。

続きまして、令和6年度全国高等学校定時制通信制体育大会の主な競技結果について報告いたしますので、3ページをご覧ください。令和6年度全国高等学校定時制通信制体育大会は、7月22日（月）から8月16日（金）まで東京都を中心として開催されました。団体については、向陽台高校古川学園キャンパスが、卓球競技で3位入賞を果たしました。個人については、ソフトテニス競技の個人で、徳風高校の高士・西尾選手、卓球競技のシングルスで向陽台高校古川学園キャンパスの地白選手が5位に入賞するなど、4件の入賞を果たしました。

最後になりましたが、令和6年度全国高等学校総合体育大会及び、この後報告いたします令和6年度全国中学校体育大会で優勝された選手の方々については、本日の夕方、県庁で、知事及び教育委員会事務局に結果を報告していただくことになっておりますことをお伝えし、報告を終わります。

説明は以上です。

【質疑】

教育長

報告1はいかがでしょうか。

富樫委員

昨年度と比較して、個人・団体はあわせて14件少なくなったということだったと思うのですが、目標値はあるのですか。例えば、オリンピックですと、メダルを何個ぐらいなど、そういうのがあると思うのですが、そういうのはそぐわないかもしれませんが、県としての目標とかはありますか。

堀越課長

教育委員会として、目標値の設定はしてありませんが、毎年、三重県高体連の方から入賞数の報告という形では報告を受けております。

—全委員が本報告を了承する。—

・報告事項

報告2 令和6年度三重県中学校総合体育大会の結果について（公開）

（堀越保健体育課長説明）

報告2 令和6年度三重県中学校総合体育大会の結果について

令和6年度三重県中学校総合体育大会の結果について、別紙のとおり報告する。

令和6年9月19日提出 三重県教育委員会事務局 保健体育課長

お手元の資料、1ページをご覧ください。令和6年度三重県中学校総合体育大会は、一

部の競技を除き、7月25日（木）から8月2日（金）にかけて、県内各地において開催されました。資料の2ページに、団体競技の上位入賞校一覧を、3ページに、個人種目の上位入賞者一覧を、4ページから5ページにかけて、水泳競技の入賞者一覧を掲載しております。

この大会結果等により、上位入賞の団体・個人が、この後報告いたします東海大会に、柔道、剣道、相撲、水泳の4競技については、県大会の結果で、全国大会へ出場しました。説明は以上です。

【質疑】

教育長

報告2はいかがでしょうか。

－全委員が本報告を了承する。－

・報告事項

報告3 令和6年度東海中学校総合体育大会の結果について（公開）

（堀越保健体育課長説明）

報告3 令和6年度東海中学校総合体育大会の結果について

令和6年度東海中学校総合体育大会の結果について、別紙のとおり報告する。

令和6年9月19日提出 三重県教育委員会事務局 保健体育課長

お手元の資料1ページをご覧ください。令和6年度東海中学校総合体育大会は8月2日（金）から8月10日（土）にかけて、東海各県において開催され、本県からは17競技に約1,200人の選手が大会に参加しました。

結果につきましては、上位入賞一覧の団体の部を1ページに、個人の部を2ページに掲載しています。

団体の部では、女子バレーボールで久居東中学校、男女バスケットボールで四日市メリノール学院中学校、相撲で三重クラブ、男子テニスで山手中学校、女子テニスで大池中学校が優勝しました。

団体の部での3位以内の入賞数は12競技、21チームでした。

個人の部では、陸上競技での入賞者数が多く、5競技の16種目で優勝するなど、延べ57名が3位以内の上位入賞を果たしました。

東海大会の結果により、全国大会の出場権を獲得する団体・個人が多くありました。

説明は以上です。

【質疑】

教育長

報告3はいかがでしょうか。

－全委員が本報告を了承する。－

・報告事項

報告4 令和6年度全国中学校体育大会の結果について（公開）

（堀越保健体育課長説明）

報告4 令和6年度全国中学校体育大会の結果について

令和6年度全国中学校体育大会の結果について、別紙のとおり報告する。

令和6年9月19日提出 三重県教育委員会事務局 保健体育課長

お手元の資料1ページをご覧ください。令和6年度全国中学校体育大会は、8月17日（土）から8月25日（日）にかけて、北信越ブロックの各県において開催され、三重県から約220人の選手が大会に参加しました。

結果につきましては、三重県勢はご覧のように団体の部で、東海大会同様、男子バスケットボールで、四日市メリノール学院中学校が優勝しました。その他2競技で、1校と1チームが8位以内の入賞を果たしています。

個人の部では、陸上競技において、名張市立桔梗が丘中学校の北村環奈さんが女子200mで、体操競技において、四日市市立三滝中学校の棟田琳音さんが女子段違い平行棒で優勝するなど、17件の入賞を果たしています。

各競技におきまして、全国大会という大舞台で、それぞれの持てる力を十分に発揮し、素晴らしい成績を収めていただきました。

説明は以上です。

【質疑】

教育長

報告4はいかがでしょうか。

大森委員

まず、いわゆる小学校からの県あげての育成の成果として、どれぐらいの結果が出ているかということと、それから先ほど入賞者が減ったっていう話があったと思うのですが、育成したチームみえスーパージュニアの子どもたちが、他の都道府県の学校に流れて、そちらで入賞しているっていうことではないのかなと。例えば、今回のオリンピックでも、卓球の戸上くんは山口の高校に行っていて、その辺のチームみえスーパージュニアからの育成がうまくいっているがゆえの泣きどころというのものもあるのかなと感じているのですが。

この小学校からの三重の育成スタイルっていうのが、今回のパリオリンピックでの三重県出身者の入賞者とメダル受賞者に繋がっていると思います。

ちょっと話が逸れるかもしれないですけども、私の職場の陸上の400mリレーの川端くんは、このチームみえスーパージュニアに選ばれてないっていうことを言っていたけど、本人は。彼は大学に入ってから伸びたと言っていましたけど、やはりそれも育成選手に自分が選ばれなかったことが山商時代に刺激になったと聞いているので、そもそも小学校からの育成がどう効果があがっているかをちょっとお伺いしたいのですが。

天白充指導主事

現在の高校3年生につきましては、三重とこわか国体の開催が予定されていた2021年では中学校3年生でした。この国体に向けては、その当時の高校1年生から高校3年生の年齢にあたる子たちをターゲットエイジとして、集中的に強化をしていましたので、現在の高校3年生と中学校3年生に当たる子たちは、大会後ですね、安定した成績を残すという目的で少し取組が変わっているところがありますので、その結果が昨年度、三重国体はコロナの影響でできませんでしたので、その翌年、翌々年ということで強化を継続しましたので、その子たちと比べると、14件入賞数の減になったということが考えられます。

ただ具体的に言うと、選抜大会で優勝した自転車の選手が、東海大会で競技中の事故をしてしまいまして、入賞件数が3件ぐらい減ってしまったとか、いろいろな状況があるのですが、今後、ターゲットエイジから少し外れる子たちの世代が続くことになっていきますが、そここのところは競技力向上対策課でも、現状分析しながら取組を進めていくということになっておりますし、入賞数につきましても、競技力向上対策課の方では、目標値を定めてやっておりますので、そこも情報共有しながら進めていきたいなというふうには思っております。

いろんな競技において、チームみえスーパージュニアの指定は今続けておりますが、先ほどおっしゃられたように、卓球、レスリング、フェンシングのように、小さい時から輝かしい成績を収めることで、将来も同じような輝かしい成績を収められる競技もありますが、一方で、例えば陸上競技のように高校以降に伸びるような選手もおりますので、そういったところも含めて、競技団体等はチームみえスーパージュニアの選び方等も確認して、今進めておりますので、そういったところ競技力向上対策課ともですね、情報共有しながら、保健体育課としては幅広く取組を進めていけたらと考えております。

大森委員

多分オリンピックに向けて、三重の人たちが元気になる。本当に今回も、身近なところでオリンピック選手がたくさん出たので、結構三重県の人が喜んでいるなどというのは感じたのですが、川端くんなんか、嬉野の子がと言われていたので。そういうことがあるので、やはり三重の人たちが元気になるためには、小さい頃からスポーツで強化して、そういうことで引っ張っていってもらおうということが大事だと思うので、ぜひとも引き続きお願いしたいと思います。

それからもう1点聞きたいことがあります。成績一覧に結構、地域クラブが出てきている、入賞していると思います。やはりこれは、ある程度今後の中学校を中心とした部活動の地域クラブへの移行ということを考えた時にも、少し成果が出てきているというふうに考えていいのですか。

堀越課長

中学校についてですが、まず出場に関しては、全中の方は、令和5年度が3団体からの出場であったのが、令和6年度は6チーム・団体からの出場に増えております。

入賞に関しては、令和5年度が1団体、1個人、令和6年度も同じ1団体、1個人ということで、入賞数については変わりございません。

大森委員

市町の教育長さんからは、地域移行はどうしていきのかと言われることがよくあります。地域性を考えても南勢地方で部活動の地域移行を進めていくのはちょっと難しいのではないかと言う教育長さんもいらっしゃるけども、種目によってはうまくいっているというふうに考えていいですか。

堀越課長

はい。その地域の実情に応じて、地域クラブ活動に移行しておりますので、確かにおっしゃるように、南勢のほうが指導者の確保など厳しい面はございます。しかし、例えば県大会の話になりますが、三重県の中総体の参加登録数が、令和5年度は35チームだったのが、61チームに増えているということでございますので、少しずつではありますが、増えてきているということでございます。

ただし、この地域移行に関しては、競技力を向上させるという目的ではございませんので、機会の確保ということで行っておりますので、そのような形でご理解いただけたらと思います。

—全委員が本報告を了承する。—

・報告事項

報告5 指定管理者が行う公の施設の管理状況について（非公開）

松本社会教育・文化財保護課長が説明し、全員が本報告を了承する。

・閉会宣言